

(案) xxx施設_基本方針 (After コロナ)

初版：2022年3月8日
第4版：2023年2月16日

◆COVID-19における各種対策の転換にあわせ浦添総合病院における医療体制の見直しを行う。当院を利用される患者を病原微生物から守りつつ、院内（一部院外を含む）感染等による医療機能低下を抑止し「求められる医療を継続していく」

カテゴリー	項目	感染対策を継続したうえでのポリシー
医療体制	診療	すべての患者が罹患している可能性があることを念頭に感染対策を実施の上で診療にあたる（マスク着用ポリシー：ユニバーサルマスクとして着用）
	病棟	すべての患者が罹患している可能性があることを念頭に感染対策を実施の上で看護・介護を行う（マスク着用ポリシー：ユニバーサルマスクとして着用）
	検査体制（患者、職員）	<ul style="list-style-type: none">入院前：PCR継続（担当部門：入退院支援室）転院前：抗原検査（※受け入れ先の状況に応じて対応可能）受診時：帰宅可能者（抗原）、入院となる者（PCR）アウトブレイク：「現行継続」濃厚接触者5日間（0，3，5日にPCR）
	面会	5月いっぱいには地域流行動向をみきわまるため面会制限を継続 ※提案としては、医師、看護で面会可能者を選定すべき
	会議+イベント	制限なし、3密を避け、体調不良者等は積極的に参加を控えさせる体制を構築。または開催前に体調確認表を用いる対策を講ずる
	職員就業関連	体調不良者：積極的に休んでもらう、休職期間は選定しない 濃厚接触者：原則インフルエンザと同様に体調不良がなければ勤務可 ※但し業務内容（上長判断）や業務前の抗原検査の実施については濃厚の程度を見て判断
その他	飲食	個人責任のもの判断されたし、集団での開催に関しては（地域流行判断）
	出張等	個人責任のもの判断されたし、集団での開催に関しては（地域流行判断）

新型コロナウイルス感染症・インフルエンザの比較表（浦添総合病院）

項目	季節性インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症
潜伏期間	1～4日間（平均2日）	1～10日間（平均3日）
ウイルス排出期間 （感染力のある期間）	発症1-2日前～発症後5日	発症2日前～発症後10日
感染経路	<ul style="list-style-type: none"> ・飛沫感染 ・接触感染 	<ul style="list-style-type: none"> ・飛沫感染＋・接触感染 ・飛沫核（空気）感染
感染管理（部屋）	原則、個室管理 ※人数が増えた場合はコホート	原則、個室管理 ※人数が増えた場合はコホート ※エアロゾル排出の可能性が高い場合は陰圧室管理
陽性者の隔離解除期間 （入院患者）	発症日を0日カウントで 7日間経過かつ、解熱48時間経過 を含む	発症日を 0日カウントで10日間経過 ※但し、症状によって変動有り
濃厚接触者の隔離解除期間 （入院患者）	最終接触を0日とし、48時間経過かつ、症状がない事を確認	最終接触日を0日とし、5日経過、かつ、5日目にpcr検査「陰性」確認

※ハイリスク者（免疫抑制者、妊婦、ステロイド使用者等）を長期的にウイルス排出の可能性があるため注意

手指衛生の場面（どの病原微生物にも有効）

5つの場面	何故に？	誰に影響がでる？
利用者に触れる 前	✓自身の手についている可能性のある病原微生物を利用者（表面）へ移さない	職員☞利用者・入所者
清潔・無菌操作の 前	✓自身の手についている可能性のある病原微生物を利用者（内）へ伝搬させない	職員☞利用者・入所者
体液に曝露した（された）可能性のある場合（ 後 ）	✓患者に付着している病原微生物より自身を守る	✓利用者・入所者☞職員からの、
利用者へ触れた 後	✓患者に付着している病原微生物より「周囲環境」への伝搬を予防する	①職員☞利用者・入所者 ②職員☞「環境」
利用者の周囲環境に触れた 後		※環境☞職員・利用者・入所者

高齢者福祉施設用のチェック表（案）の作成

高齢者施設等における感染症発症時における対策確認表

【前提条件】

- ・高齢者福祉施設等で検査を実施し陽性となった場合に本用紙を活用する事
- ・陽性確定者だけでなく、疑い事例も含む（背景より疑うことも可能）
- ・対象疾患：インフルエンザ、コロナウイルス感染症、ノロウイルス感染症

日時：____年____月____日____曜日

発生場所：____階・フロア・棟 対応者：_____

【対応内容】

- 発症者の個室移動を検討する（多床室の場合）※移動時には対象者にマスク着用させる（ノロ除く）
One point：移動が早急にできない場合は対象者へマスク+カーテンに表示（疾患名）を付ける
two point：陽性者や同室者の物品は個人専用を検討するか、利用者毎で清拭する
- フロアマネージャ、管理者、主治医へ状況を報告 ※しっかりと情報収集を行い報告する事
情報収集例：①症状出現日 ②症状 ③入所日 ④現在の状況 ⑤検査日 ⑥ワクチン接種歴 等
- 陽性者の身体症状（ぐったりしている、意識が悪い、水を飲まない、食事を食べない）等が確認される場合はかかりつけ医師、主治医へ早急に報告を行う
- 移動後の環境整備 発症者ベッドサイドのカーテン交換、周囲環境整備を実施・または入室制限する
使用薬剤：✓インフルエンザ・コロナウイルス：アルコール ✓ノロウイルス：次亜塩素酸ナトリウム
- 同室者への説明と濃厚接触者の選定を行う（基本同室者は濃厚接触者とする）
- 同室利用者の移動制限を実施 陽性者移動後（病日0日）より48or72時間までは移動制限
※濃厚接触者となった同室者は「潜伏期間中であることよりハビリ・サービスは最小限（要検討）とする」

- 陽性者が発生した多床室には「関係者以外立ち入り禁止」を掲示。また、対応管理者は掲示されているかの確認（評価）を行う
- 同室利用者に同様な症状が出てこないか、症状の確認を行う
- 家族への報告 ※家族内に同様な症状者がいないか、病室移動する事について説明
- 連携するサービス等へ情報提供を行う
- 面会については、施設の状況に応じて判断する 判断結果；『_____』
- 同室者への予防投薬の確認 ※インフルエンザのみ（かかりつけ医師と要相談）

ほしい施設
いますか？

施設名：_____ 印刷：2023年2月17日
沖縄県コロナ対策本部施設感染対策チーム事務局

高齢者施設等における感染症発症時における対策確認表

【前提条件】

- ・高齢者福祉施設等で検査を実施し陽性となった場合に本用紙を活用する事
- ・陽性確定者だけでなく、疑い事例も含む（背景より疑うことも可能）
- ・対象疾患：インフルエンザ、コロナウイルス感染症、ノロウイルス感染症

日時：____年____月____日____曜日

発生場所：____階・フロア・棟 対応者：_____

【対応内容】

- 発症者の個室移動を検討する（多床室の場合）※移動時には対象者にマスク着用させる（ノロ除く）
One point：移動が早急にできない場合は対象者へマスク+カーテンに表示（疾患名）を付ける
two point：陽性者や同室者の物品は個人専用を検討するか、利用者毎で清拭する
- フロアマネージャ、管理者、主治医へ状況を報告 ※しっかりと情報収集を行い報告する事
情報収集例：①症状出現日 ②症状 ③入所日 ④現在の状況 ⑤検査日 ⑥ワクチン接種歴 等
- 陽性者の身体症状（ぐったりしている、意識が悪い、水を飲まない、食事を食べない）等が確認される場合はかかりつけ医師、主治医へ早急に報告を行う
- 移動後の環境整備 発症者ベッドサイドのカーテン交換、周囲環境整備を実施・または入室制限する
使用薬剤：✓インフルエンザ・コロナウイルス：アルコール ✓ノロウイルス：次亜塩素酸ナトリウム
- 同室者への説明と濃厚接触者の選定を行う（基本同室者は濃厚接触者とする）
- 同室利用者の移動制限を実施 陽性者移動後（病日0日）より48or72時間までは移動制限
※濃厚接触者となった同室者は「潜伏期間中であることよりハビリ・サービスは最小限（要検討）とする」
- 陽性者が発生した多床室には「関係者以外立ち入り禁止」を掲示。また、対応管理者は掲示されているかの確認（評価）を行う
- 同室利用者に同様な症状が出てこないか、症状の確認を行う
- 家族への報告 ※家族内に同様な症状者がいないか、病室移動する事について説明
- 連携するサービス等へ情報提供を行う
- 面会については、施設の状況に応じて判断する 判断結果；『_____』
- 同室者への予防投薬の確認 ※インフルエンザのみ（かかりつけ医師と要相談）

高齢者施設等でおこなう簡単感染対策✓POINT

■手指衛生（持参してありますか？）

- ①患者に接触する前に手指衛生、持参出来ない場合は部屋に入る前に（個室の場合）
- ②患者に触れた後に手指衛生、持参していない場合は部屋を出る前に（個室の場合）
- ③入所者の空間（カーテンで仕切りであれば内側）は入所者スペースです。
そこに触れた後は手指衛生してありますか？
- ④多床室の場合は患者毎で①、②、③を実施していますか？
- ⑤自分自身の「眼」「鼻」「口」に触れる前に手指衛生していますか？

※①～⑤を実施する場面で手袋を着用してはなりませんよ！
逆に言うと手袋付けて安心が周りへ広げる！（NOルーチン手袋）

高齢者施設等でおこなう簡単感染対策✓POINT

■手袋（つけている目的は何ですか？）

- ①自分自身の手を守るために使用するのであれば、周りへ広げない努力（つけっぱなし）をしていますか？端的に言うとずっとつけるな！です
- ②つける必要がある場面では「直前に着用し」「直後に脱ぐ」してありますか？
- ③A利用者へ使用した手袋のまま次のB利用者に触れていませんか？×ですよ
- ④手袋を着用したまま自分自身の顔面に触れていませんか？
- ⑤手袋着用のまま筆記用具などを使用していませんか？

※手袋は着用は自分自身を守っているように感じますが、そのままであれば周囲環境を汚染します、また、その手袋で自身を触る人も多い。余計に汚染する